安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見ることができるように必ず保管してください。転居される場合は、新しく入居される方が商品を安全にお使いいただくために、この「取扱説明書」を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。
この「取扱説明書」では、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。

表示と意味

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示と意味

禁　止

商品の取り扱いにおいてその行為を禁止するために用いています。

分解禁止

商品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示しています。

水場での使用禁止

防水処理のない商品を水場で使用すると、漏電によって感電や発火の可能性を示しています。

接触禁止

商品の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示しています。

ぬれ手禁止

商品をぬれた手で扱うと感電する可能性を示しています。

水ぬれ禁止

防水処理のない商品を水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電によって感電や発火の可能性を示しています。

必ず実行

使用者に対し指示に基づく行為を強制しています。

アース接続

安全アース端子付きの機器の場合、使用者にアース線を必ず接続するように指示しています。

プラグを抜く

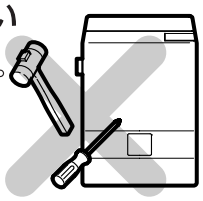
使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示しています。

警告

火災や感電を防ぐために

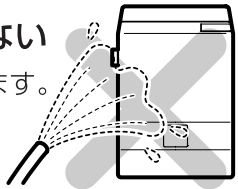
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

感電や火災の原因になります。



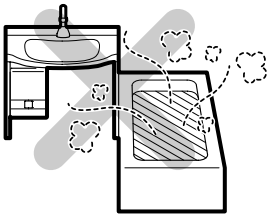
機器本体に水をかけない

感電や火災の原因になります。



水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しない

感電や故障の原因になります。

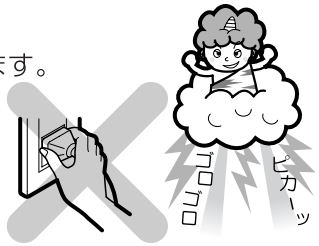


ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

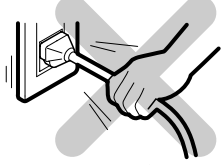
雷が発生しているときは、電源プラグに触れない

感電の原因になります。



電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



※傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。

指定する電源以外では使用しない

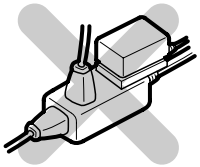
火災の原因になります。

ガタついているコンセントを使わない

火災の原因になります。

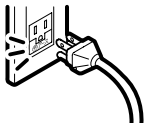
コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



アース（D種接地）工事がされていることを確認する

アース工事がされていないと故障や漏電のときに、感電する原因になります。



※取り付けられていない場合は、必ずお取付工事店または、販売店に依頼して取り付けてください。

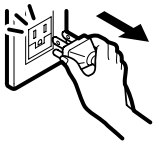
漏電遮断器が取り付けられていることを確認する

感電や火災の原因になります。

※取り付けられていない場合は、必ずお取付工事店または、販売店に依頼して取り付けてください。

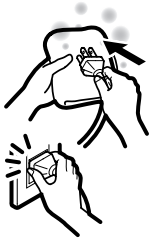
電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く

コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。



電源プラグの刃などについたホコリは、1カ月に1回程度定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む

電源プラグにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



※電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く

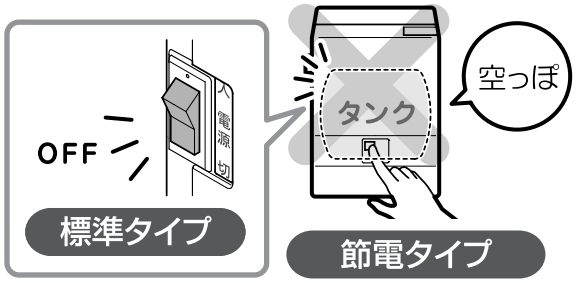
感電の原因になります。

⚠注意

故障や事故、水漏れを防ぐために

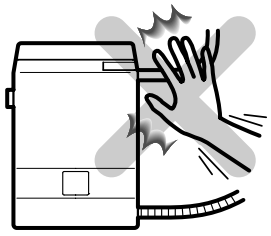
タンク内に水がないときは、沸上げ運転（電源）スイッチを入れない

空焚きとなり故障・事故の原因になります。
※必ずP.7【タンクへ水を入れる】の作業を行ってから沸上げ運転（電源）スイッチを入れてください。



連結管など、接続配管やコードに無理な力や衝撃を加えない

水漏れ・漏電の原因になります。

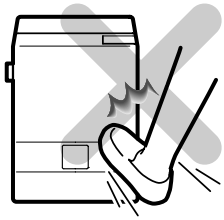


水道水以外は使用しない

井戸水などを使用すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。

商品に強い力や衝撃を与えない

故障や水漏れの原因になります。



元止め式ですので、吐水口をふさいだり、浄水器やホースをつながない

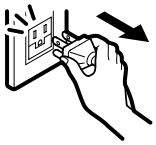
タンクに異常圧がかかり水漏れの原因になります。

スパウトの先端を手でふさがない

水がスパウト内を通って逆流し、水漏れする原因になります。

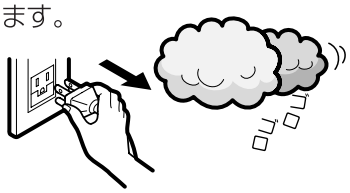
長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

安全のために電源プラグを抜いておいてください。



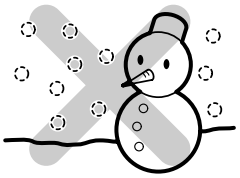
落雷の可能性がある場合は、あらかじめ電源プラグを抜く

故障の原因になります。



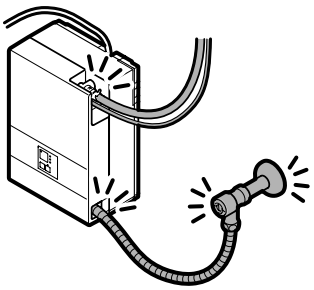
電気温水器、水栓周辺の温度が氷点下にならないようにする

凍結により破損し、水漏れするおそれがあります。
※凍結による破損は保証期間内でも有料となります。



ご使用の際は、配管の周り（キャビネット内、点検口内を含む）を見て水漏れがないか確認する

部品の劣化・摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産被害発生のおそれがあります。



出る湯（水）の量が少なくなったら、止水栓、給水口のフィルターの点検・清掃を行う

P.20・21

フィルターが詰まると、湯の量が減少したり機器の故障の原因になります。

必ず専用水栓を使用する

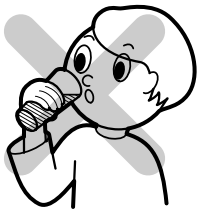
元止め式ですのでタンクの破損、水漏れの原因になります。

⚠注意

やけどやケガ、下痢・腹痛を防ぐために

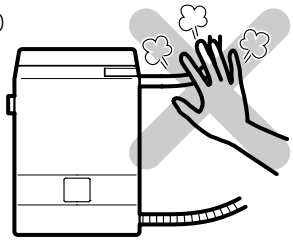
湯は、飲料用に用いない

下痢・腹痛などを起こす場合があります。



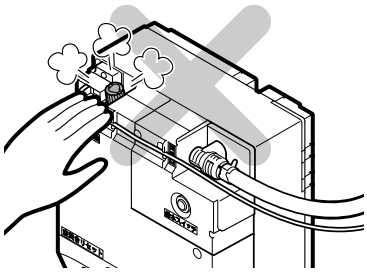
排水時に熱い湯が出るおそれがあるので湯に触れない
また、連結管も高温になるため触らない

やけどのおそれがあります。



吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行う

やけどのおそれがあります。



タンク内の水を抜くときは、タンク内の湯が水になっていることを確かめてから行う

やけどのおそれがあります。

フィルターの清掃をする際は、止水栓または元栓を閉めてから行う

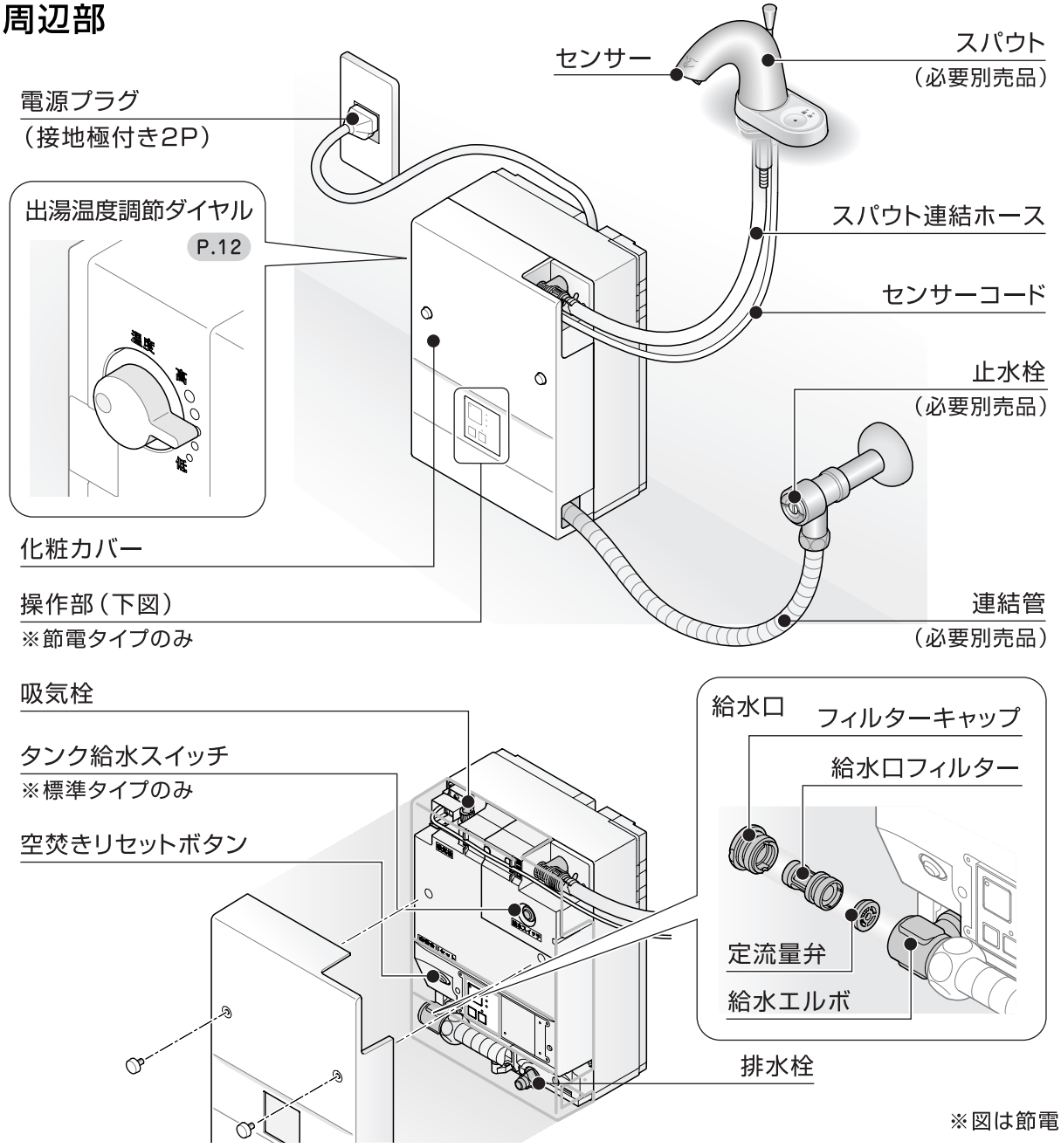
湯･水が噴き出て、やけどや家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

スパウトのキャップがゆるんでいないか確認する

キャップがゆるんだ状態でご使用になると、吐水時にキャップが飛び出して傷害を負う可能性があります。

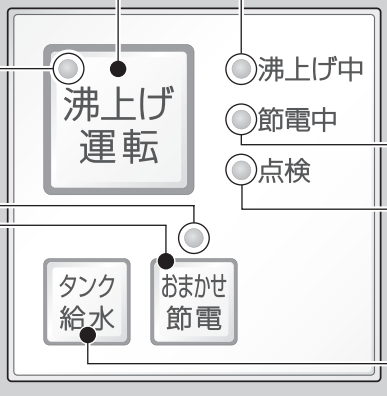
各部のなまえ

本体周辺部



※図は節電タイプ

操 作 部 節電タイプ



沸上げ運転スイッチ P.10
沸上げ運転（電源）の入/切を行います。

沸上げ運転ランプ P.10
点灯:電源「入」

おまかせ節電ランプ P.15
点灯:おまかせ節電設定「入」

おまかせ節電スイッチ P.15
おまかせ節電設定の入/切を行います。

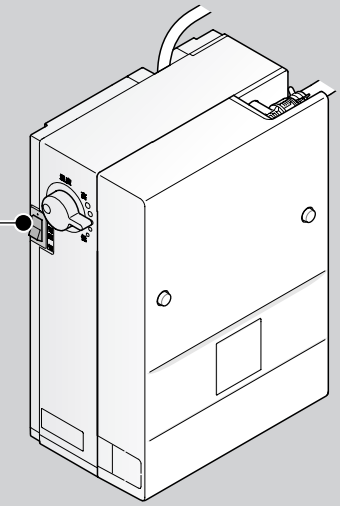
沸上げ中ランプ P.10
点灯: 沸上げ中
消灯 : 保温中

節電中ランプ P.15
点灯:節電中

点検ランプ P.26
点灯・点滅:異常・故障時

タンク給水スイッチ P.8
タンクに水を入れます。

操 作 部　標準タイプ



電源スイッチ

電源の入/切を行います。沸き上げ中のみランプが点灯します。

スパウト部　必要別売品

〈自動水栓〉

Aタイプ

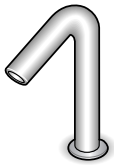
泡まつ／ハイパー泡まつ

泡まつ

コンテンポラリタイプ

曲線

L型



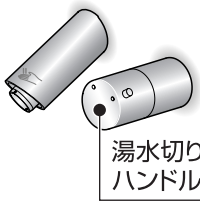
グースネックタイプ

泡まつ

壁付きタイプ

泡まつ／ハイパー泡まつ

泡まつ



〈タッチスイッチ水栓〉

はじめに ご確認ください

止 水 栓（必要別売品）

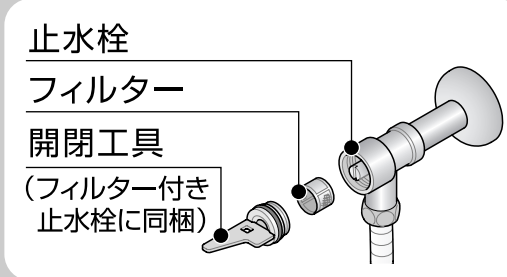
- **フィルター付きの止水栓が取り付けられていますか?**

  フィルター付き止水栓を使用しない場合、電磁弁に異物がかみ込み、止水不良など、機器故障の原因となります。

  ※フィルター付きの止水栓が取り付けられていない場合は、お取付店、お取扱店または、TOTOメンテナンス（株）修理受付センター

  TEL 0120-1010-05　FAX 0120-1010-02

  にご連絡ください。

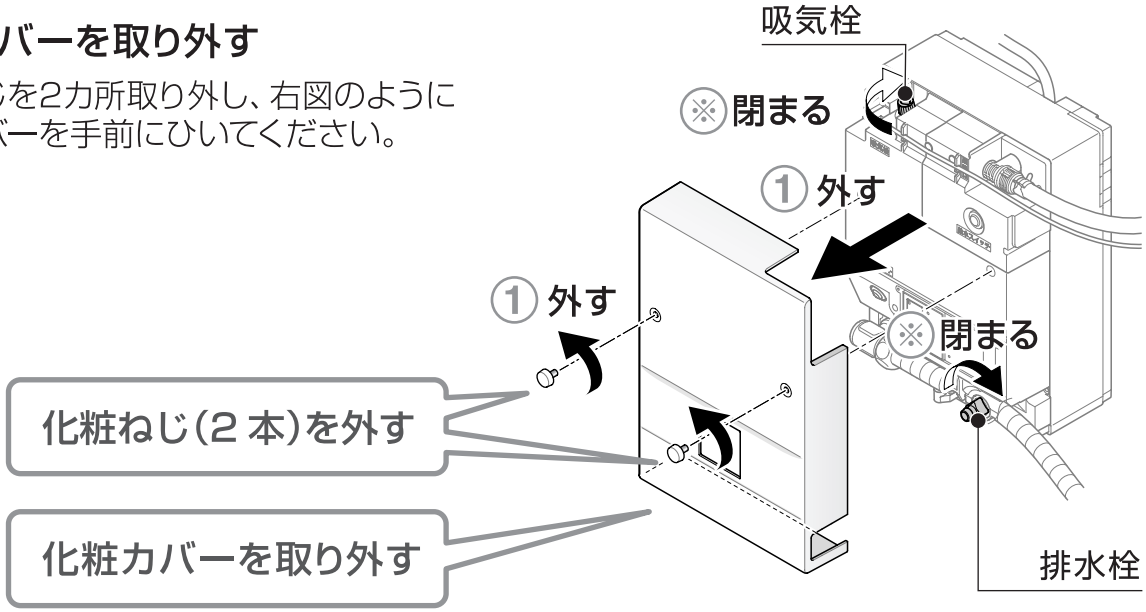


タンクへ水を入れる

次の手順で確実にタンクへ水を入れてください。水が入っていないと空焚きの原因となります。

1 化粧カバーを取り外す

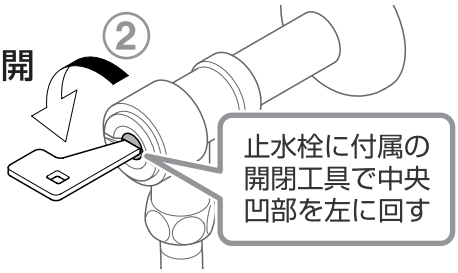
化粧ねじを2カ所取り外し、右図のように
化粧カバーを手前にひいてください。



※ ご確認ください

吸気栓・排水栓が閉まっていること

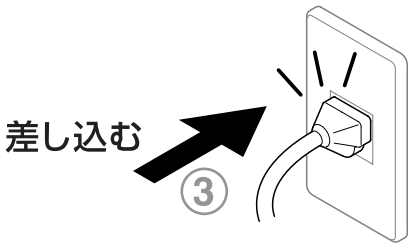
2 止水栓を開ける



3 電源プラグを差し込む

注意	コンセントに根元まで確実に差し込んでください。

- 電源投入後、5秒間水が出ます。
- スパウト内のセンサーランプは、電源を入れて約10分間は感知するたびに赤く点滅しますが、故障ではありません。（ランプの点滅は10分後に消えます。）



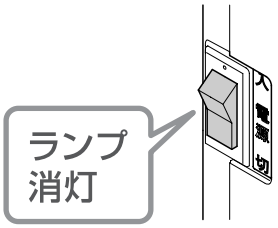
※ ご確認ください

沸上げ運転ランプが消えていること

注意	沸上げ運転(電源)スイッチが「切」になっていることを確認してください。

節電タイプの場合

標準タイプの場合



ご確認ください

スパウトに湯水切り替えスイッチ、湯水切り替えハンドルがある場合は、湯側にしていること

注意 水側になっている状態では、タンク給水スイッチを押してもタンクに給水しません。

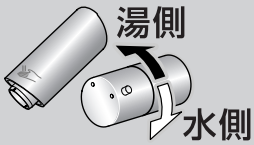
湯水切り替えスイッチ・湯水切り替えハンドル操作について

湯水切り替えスイッチ付きスパウトのみ

湯水切り替えスイッチ上のランプが点灯している側が出ます。湯水切り替えスイッチを押すとランプの点灯が切り替わり、湯と水が切り替わります。
湯（水）がとまっているときに湯水切り替えスイッチを押すとランプの点灯のみが切り替わります。

湯水切り替えハンドル付き

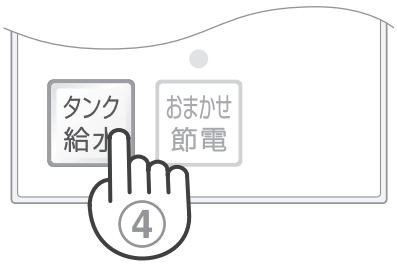
ハンドルを左側（赤）に回すと「湯」、右側（青）に回すと「水」が出ます。



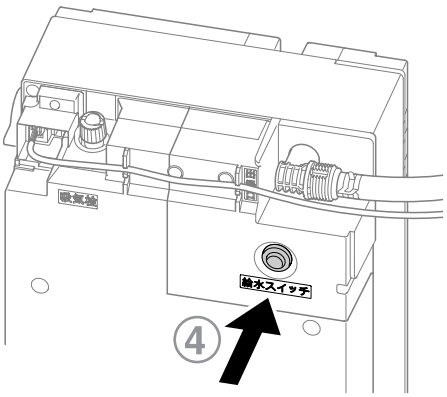
4 タンク給水スイッチを押す

節電タイプの場合

注意 電源投入時は動作準備に多少時間がかかります。電源プラグを差し込んだあと、約10秒待ってタンク給水スイッチを押してください。



標準タイプの場合



断続的に水が出る

タンク給水中は空気を巻き込んだ状態でスパウトから約5分間断続的に水が出ます。
約１分間しか水が出ない場合は、電源プラグをコンセントより抜いて5秒程度してから再度電源プラグを差し込み、タンク給水スイッチを押してください。

満水になっていない状態

5 満水になったら、もう一度タンク給水スイッチを押して水を止める

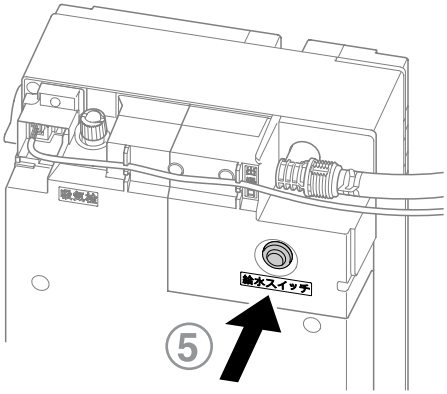
注意 満水になるまで約2分かかります。

※水の出方が安定する前に水が止まったら、再度タンク給水スイッチを押して水の出方を安定させ、タンクを満水にしてください。

満水の状態

節電タイプの場合

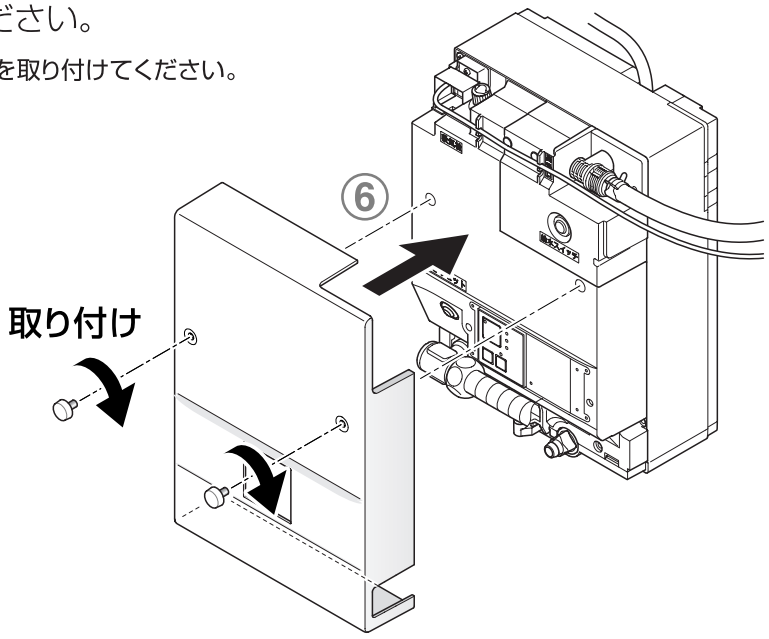
標準タイプの場合



6 化粧カバーを取り付ける

化粧ねじを2カ所取り付けてください。

※コードを噛み込まないように化粧カバーを取り付けてください。



湯を沸かす

ご確認ください

自動水栓の場合

スパウトのセンサー部に
手を近づけ水が連続的に
出ることを確認する

湯水切り替えスイッチ付き
自動水栓の場合

※湯 水 スイッチ上のランプが「湯」に
なっていることを確認してください。

湯水切り替えハンドル付き
自動水栓の場合

※「湯」左側（赤）に
回したことを確認
してください。

タッチスイッチ水栓の場合

「温水」スイッチを押して
水が連続的に出ることを確認する

注意 水が連続的に出ない場合は、P.7～9の「タンクへ水を入れる」をご覧ください。

1 沸上げ運転（電源）スイッチを押し、「入」にする

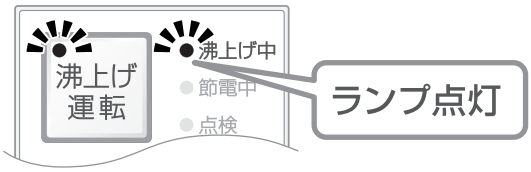
沸上げ運転を開始します。

⚠ 注意

タンク内に水がないときは、沸上げ運転（電源）スイッチを入れない
空焚きとなり故障・事故の原因になります。

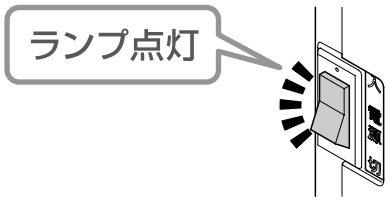
節電タイプの場合

沸上げ運転ランプが点灯します。
沸上げ中は沸上げ中ランプが点灯します。



標準タイプの場合

沸上げ中はランプが点灯します。



自動的に通電が止まる

湯が沸き上がり、使える状態になります。

スパウトから湯がポトポト滴下することがありますが故障ではありません。
タンク内の水が沸き上がると止まります。 P.31「故障ではありません」を参照ください

＜沸き上がり※時間の目安＞

※沸き上がり温度は約75℃です。

給　水　温　度	5℃	15℃	25℃
REAH03型・REAK03型・REAM03型・RECK03型・MXREAH03型	約21分	約18分	約15分
REAL03型	約41分	約35分	約29分

節電タイプの場合

沸き上がると沸上げ中ランプが
消灯します。
消灯するのは「沸上げ中」ランプ
のみで「沸上げ運転」ランプは点
灯したままです。

標準タイプの場合

沸き上がるとランプ
が消灯します。

タンク内の湯温が下がると再びヒーターに通電され、沸上げ中ランプが再点灯する